

# 取扱説明書

Version 1.0.t

型番 CAPMPFC2



保証期間：12ヶ月

※納品書・レシート等が保証書の代わりとなります。

## サポートのご案内

### ■ 修理のご案内

動作しない、お買い上げ時から問題が発生しているなどの場合は、ご連絡不要にて対応をさせていただきます。症状を記載したメモ、購入日が確認できる納品書やレシート、商品を下記住所までご送付ください(お届け日より1週間以内の場合は、初期不良として着払いにてご送付いただけます)

記載内容に不備がある場合、新しいマニュアルを公開している場合がございます。ダウンロードページをご確認ください。

<http://www.thanko.jp/support/download.html>

ご質問などが多い内容については、Q&Aページに記載している場合がございます。

<http://www.thanko.jp/support/qa.html>

### ■ メールでのお問い合わせ

お客様の御名前、商品名、お問い合わせ内容を記載し、下記アドレスまでご連絡ください。

[support@thanko.jp](mailto:support@thanko.jp)

※使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障及び損傷に関してはサポート外となります。

### サンコカスタマサポート(修理品の送付先)

〒101-0021

東京都千代田区外神田4-9-8 神田石川ビル 4階

TEL 03-3526-4328 FAX03-3526-4329

(月～金 10:00-12:00、13:00-18:00 土日祝日を除く)

メールアドレス: [support@thanko.jp](mailto:support@thanko.jp)

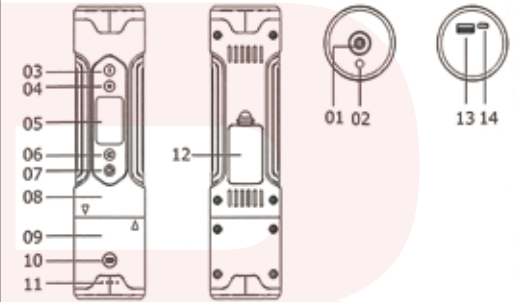
## ●仕様

サイズ	高さ221×幅55×奥行55(mm)
重量	400g
バッテリー容量	1000mAh/11.1V
インプット	5V/1~3A
USBアウトプット	5V/1A
最大出力空気圧	145PSI
充電時間	2AのACアダプターで約40分
連続使用可能時間	最大8分
使用可能時間	12~16分(気温やタイヤにより変動)
LEDライト駆動時間	最大60~70分
内容品	本体、ホース、仏式自転車用アダプタ 英式自転車用アダプタ、ボール用アダプタ 風船用アダプタ、ケース、日本語説明書



(本体内に収納されています)

## ●各部名称



- 1.ホース接続口
- 2.LEDライト
- 3.マイナスボタン
- 4.プラスボタン
- 5.液晶モニタ
- 6.Uボタン(ユニット、LEDライトボタン)
- 7.電源ボタン(スタート・ストップ)
- 8.本体
- 9.バッテリー
- 10.残量ボタン
- 11.バッテリーランプ
- 12.アダプタ収納
- 13.USBアウトプット
- 14.充電口

## ① 本体を充電する

USBケーブルとUSB ACアダプタ(市販品、別売)を用意してください。

USBケーブルをACアダプター(市販品、別売)に接続してください。USB ACアダプタは1A出力以上のものをご使用下さい。

【USBケーブル】のコネクタを【バッテリー】の【充電口】に接続してください。

ケーブルを接続すると【インジケータランプ】の左端が赤色に点灯して充電が始まります。電池残量に応じて右端から順次ランプが点灯していきます。4つすべてのランプが青色に点灯したらケーブルを抜いて下さい。

## ② 使用する(空気圧の設定のしかた)

まず、バッテリーと本体を接続します。バッテリーと本体に印字されている▼▲マークをあわせて差し込みます。

バッテリーと本体を持ち合わせて固定します。

次に、【電源ボタン】を一度押してください。電源が入り【液晶モニタ】が点灯します。電源を切る際は【電源ボタン】2秒以上押してください。電源が切れます。



【液晶モニタ】に「0」の数値が表示されました、空気圧の単位の設定を行います。

「0」の数値が表示された状態で「U」と書かれた【Uボタン】を押していくと、【液晶モニタ】右側に表示されている空気圧の単位が「PSI」→「BAR」→「KPA」→「kg/cm2」→「PSI」…(繰り返す)の順に変わっていきます。

空気を入れるタイヤの取扱説明書に記載されている、空気圧の単位を確認し、適切な単位のところに来るまで、【Uボタン】を押して行って下さい。



次に、【プラスボタン】を長押ししてください。数値が点滅し、現在設定中の目標空気圧が表示されます。

タイヤの取扱説明書を読み、タイヤの推奨空気圧の値を確認してください。

【液晶モニタ】の数値が点滅している間に、【プラスボタン】【マイナスボタン】を操作し、空気圧の値を設定してください。

この動作で設定した空気圧数値が「目標空気圧」として記録され、この数値に届くまで空気の注入動作が行われます。この設定はタイヤに空気を入れる前に毎回行って下さい。

### ③ 使用する(車のタイヤと接続、空気圧計測)

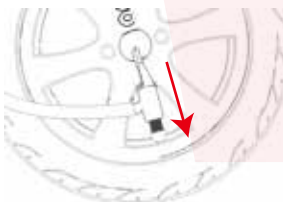
車のタイヤの空気を入れます。【自動車用ホース】を本体と車のタイヤに接続します。



本体の【ホース接続口】に【ホース】のネジ山がある方(オス側)を時計まわりにねじ込んで下さい。



【ホース】のレバーを水平状態にしてください。



車のタイヤの説明書に従い、タイヤのバルブのキャップを外し、【ホース】をタイヤのバルブに差し込んでください。



【ホース】をバルブに差し込みましたら、レバーを倒し、固定します。



液晶モニター 電源ボタン

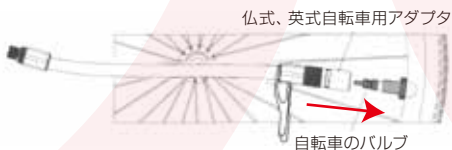
本体とタイヤの接続ができましたら、【電源ボタン】を一度押し、電源を入れて下さい。立ち上がりましたら、自動的に現在のタイヤの空気圧が【液晶モニター】に表示されます。

#### ※ご注意

ホースはタイヤのバルブに確実に装着してください。バルブとホースを接続する際、タイヤの空気圧によりホースのコネクタが押し返されます。ホースのコネクタをタイヤのバルブに確実に奥まで差し込んでください。奥まで刺さってない場合、空気圧が表示されず空気も入りません。

ホースのコネクタをタイヤのバルブに差し込むと一時的に空気が抜けます。ホースのレバーを倒して、ホースがタイヤのバルブに確実に固定されると空気の抜けが止まります。

### ④ 使用する(自転車のタイヤの空気圧計測、注入)



仏式、英式自転車用アダプタ

自転車のバルブ

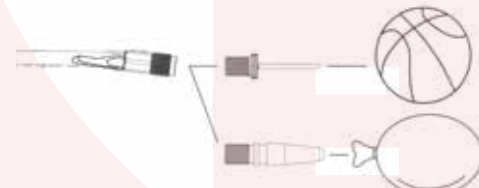
自転車のタイヤの説明書に従い、タイヤのバルブのキャップを外し、【仏式、英式自転車用アダプタ】をタイヤに適切にねじ込んで固定して下さい。

本体とタイヤの接続ができましたら、【電源ボタン】を一度押し、電源を入れて下さい。立ち上がりましたら、自動的に現在のタイヤの空気圧が【液晶モニター】に表示されます。

【電源ボタン(スタート・ストップ)】を一度押して空気を入れて下さい。詳しくは前項の【使用する(空気を入れる)】を参照して下さい。

※自転車に空気を入れる場合、ホースとタイヤを接続しただけでは空気圧が表示されない場合がございます。その場合は空気を入れる動作を行うとタイヤの空気圧が表示されます。

### ⑤ 使用する(ボール、風船に空気を注入する)



ボールや風船に空気を入れます。【ボール用アダプタ】または【風船用アダプタ】を【アダプタ収納】から取り出し、各アダプタのネジ山のある方を【ホースに】に接続します。

ボールまたは風船の適切な空気圧を調べ、空気圧を設定します。(ボール、風船の適切な空気圧は各メーカーにお問い合わせください。)設定の仕方は前項の【② 使用する(空気圧の設定のしかた)】を参照して下さい。

その後、各アダプタをボールや風船に差し込み、空気を入れます。詳しくは前項の【使用する(空気を入れる)】を参照して下さい。

※ボール・風船に空気を入れる場合、ホースとボール・風船を接続しただけでは空気圧が表示されない場合がございます。その場合は空気を入れる動作を行うとボール・風船の空気圧が表示されます。

### ● 使用する(空気を入れる)



電源ボタン(スタート・ストップ)

空気圧を計測し、空気を入れる必要がある場合、本体の【電源ボタン(スタート・ストップ)】を一度押して下さい。空気の注入が開始されます。前項で設定した空気圧になるまで空気の注入が続けられます。設定した、目標空気圧に達すると自動的に空気注入が停止されます。

※空気の注入中に【電源ボタン(スタート・ストップ)】を一度押すと空気の注入を停止できます。異常を感じた場合や、空気が十分な場合は途中で停止して空気注入をやめてください。

空気を入れ終わりましたら、【ホース】を本体、タイヤから外して下さい。

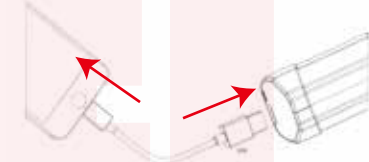
### ● 使用する(LEDライトをつける)



Uボタン

【電源ボタン】を一度押して下さい。その後【Uボタン】を2秒押して下さい。【LEDライト】が点灯します。もう一度【Uボタン】2秒押すと、ライトが切れます。

### ● 使用する(モバイル機器を充電する)



本体の電源が切れている状態でUSBケーブルのコネクタを【USBアウトプット】に接続して下さい。接続しましたら、反対側のコネクタを充電する機器に接続して下さい。自動的に送電が開始されます。この時、ポンプ本体の電源が切れていることを必ず確認して下さい。本体の電源が入っている状態ではモバイル機器へ安全な送電ができませんのでご注意ください。充電が終わりましたら、ケーブルを抜いてください。

### ④ 使用する(自転車のタイヤの空気圧計測、注入)

仏式、英式自転車用アダプタ



本体へ

自転車のバルブ



自転車のタイヤの空気を入れます。

①まず、本体裏側の【アダプタ収納】から使用するアダプタを取り出します。

②本体と【ホース】を接続します。

③次に【仏式、英式自転車用アダプタ】を【ホース】に接続します。ホースに各アダプタを最後まで差し込んでください。

④各アダプタを最後まで差し込みましたら、ホースのレバーを倒してアダプタを固定して下さい。

### ● 電池残量を確認する



残量ボタン  
バッテリーランプ

電池残量は電源を入れ、【液晶モニター】を確認いただくか、【バッテリー】の【残量ボタン】を押して下さい。【バッテリーランプ】が光り、25%ずつ、4段階で電池の残量確認ができます。

#### ⚠️ ご注意

- 空気を入れる前に、タイヤの推奨空気圧値を必ず確認してください。特に、車や自転車の場合、空気を入らずに破裂などの危険性が高まり大変危険です。推奨空気圧値がわからない場合は、タイヤを購入した購入店やメーカーなどに問い合わせを行い、必ず確認するようにしてください。
- 適切な空気の流れを維持するために、ホースを曲げないでください。
- 空気を入れている間は無人にならず、必ず監視を行うようにしてください。
- 子供の手の届くところに置かないようにしてください。
- ホースを人間や動物の口、耳、または目に挿入しないでください。
- タイヤやボールを膨らませるなど、本来の用途以外に使用しないで下さい。
- 最初の使用時はフル充電してからお使いください。
- 小さなお子様の手が届くところで保管、使用しないでください。
- 内容品に記載している以外の物は付属しません。
- 本製品をご利用において生じる物品の破損/故障は、補償の対象外となります。
- 分解しないでください。
- 落としたり強い衝撃を与えないでください。
- 高温/多湿/火気近くで保管、使用しないでください。
- 異常を感じたらご使用をやめてカスタマーサポートまでご連絡ください。
- 仕様は改善のため予告無く変更する場合があります。